

第1回 小・中学校のあり方を考える ワークショップ —「現状を知る」—

日時：令和5年12月15日（土）10:00～

場所：西伊豆町中央公民館

ファシリテーター：静岡大学教育学部 島田 桂吾

“ワークショップ”の意味

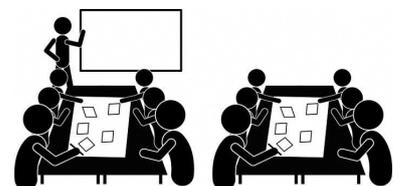
①「仕事場」「作業場」



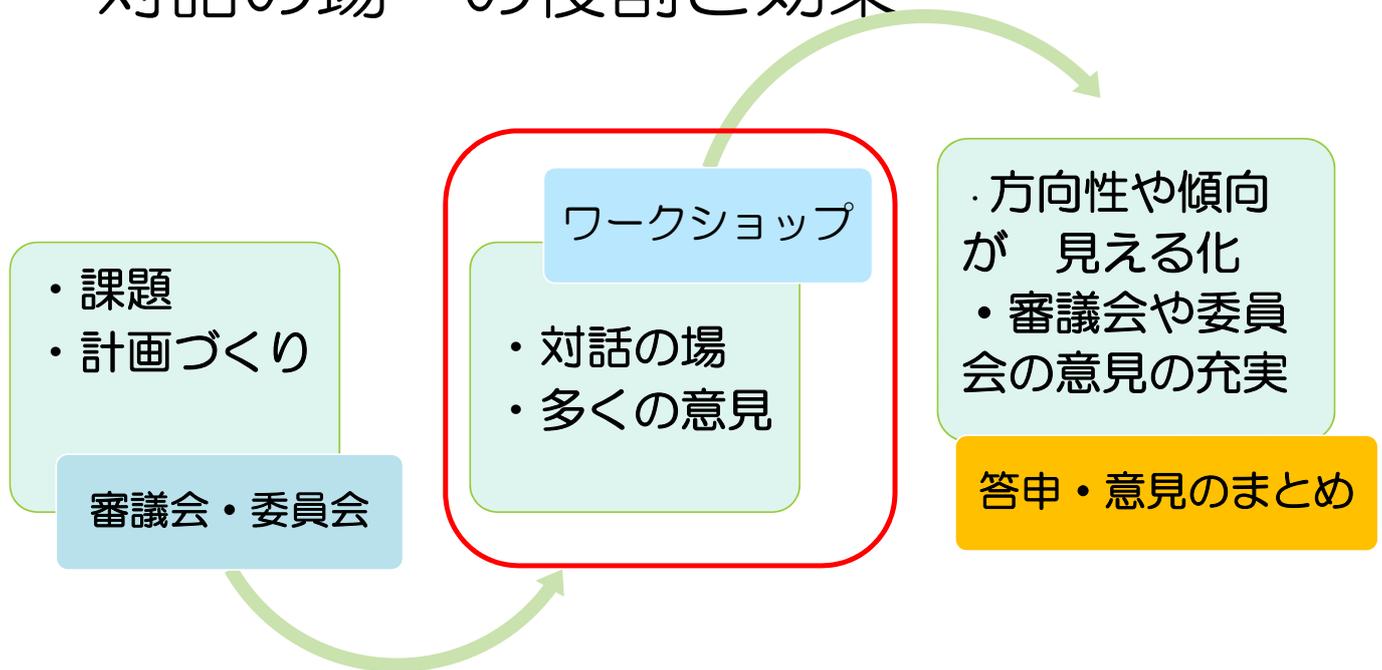
「自分たちにとってより良い「作品」をつくる」



②「参加者が主体的に参加する講習会や研究集会」



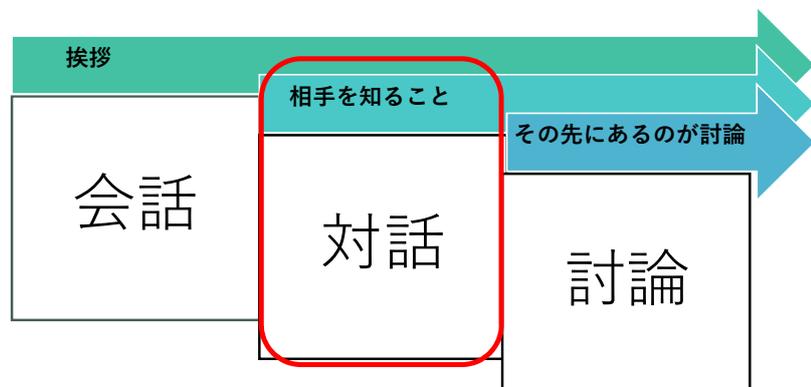
“対話の場”の役割と効果



「会話」は
人間関係の距離を保つためのもの

「対話」は
相手を理解し相手を認め合うこと

「討論」は
何かを決定するときに必要なこと



この“ワークショップ”の「作品」

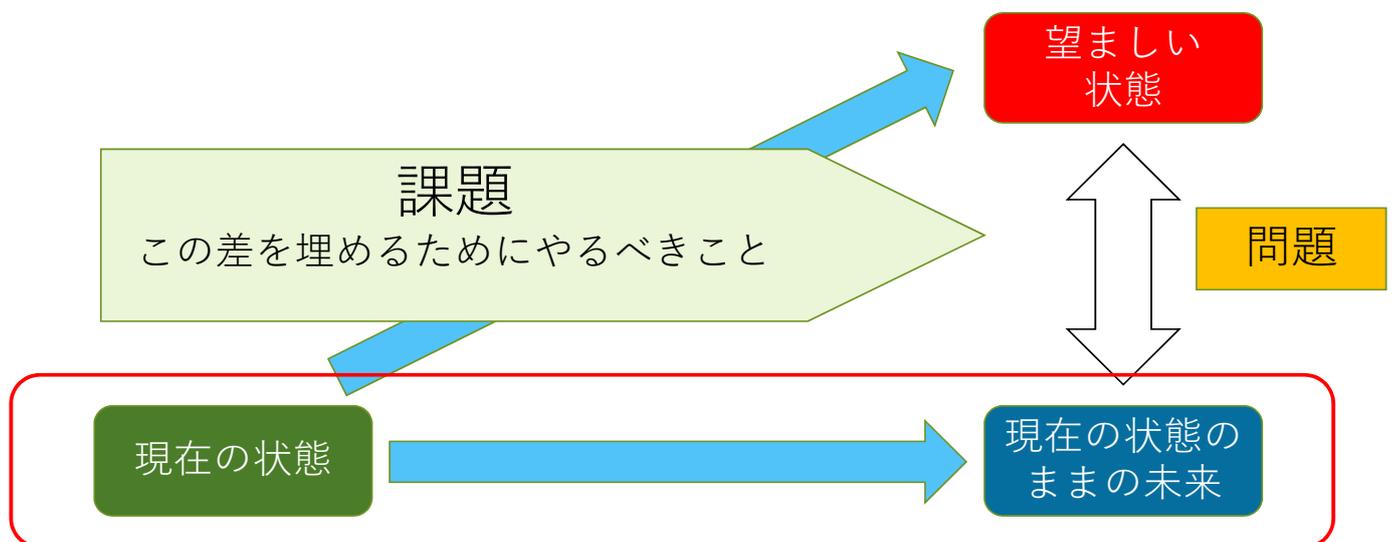
【将来的な目標】

西伊豆町の「望ましい教育環境」

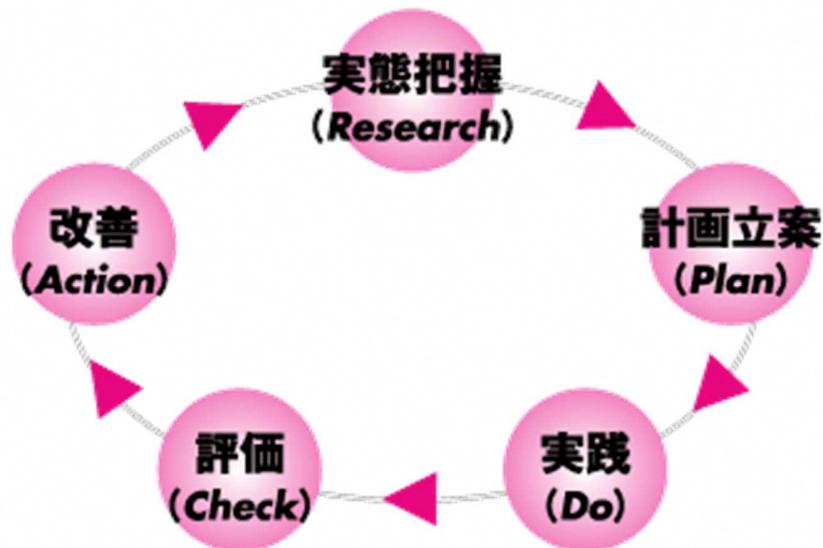
【ワークショップの目標】

小・中学校の現状や課題について『対話』を通じて学び合いながら、「望ましい教育環境」の在り方について意見を整理する

“課題解決（学習）”のポイント



“R-PDCAサイクル”



第6回「現状を知る」

テーマ：西伊豆町の教育環境の現況を知る

【レクチャー】 教育委員会による現況説明
⇒現況をふまえての意見交換

【ワーク】 現況における評価と論点の提案
⇒「対話」が必要だと思ふテーマ（論点）を出し合う

ワーク 現状の評価と論点の提案

(1) 現状をふまえた上で感じたこと・考えたことを付箋に書いてください。

(2) 「対話」が必要だと思うテーマ（論点）を付箋に書いてください。

⇒付箋を模造紙に貼りながら意見交換をしてください。